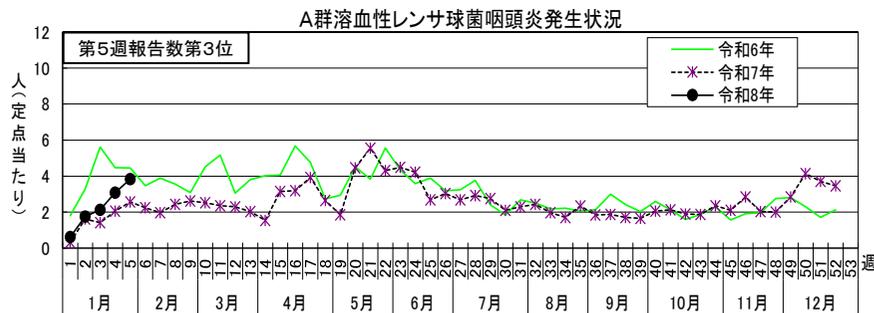
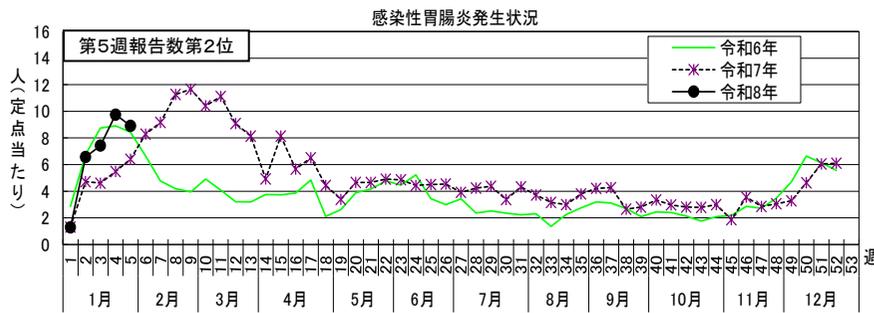
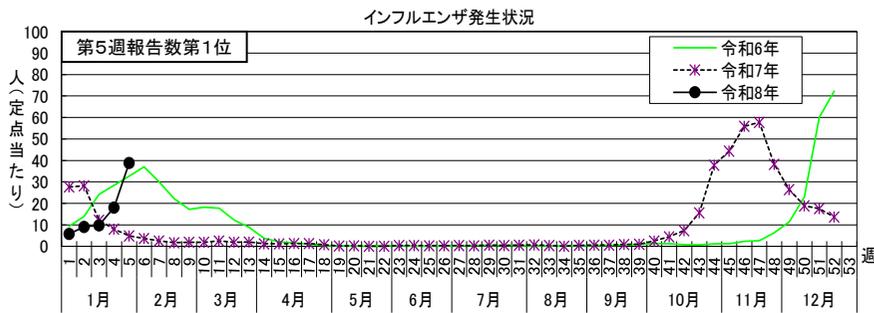


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和8年1月26日（月）～令和8年2月1日（日）〔令和8年第5週〕の感染症発生状況

第5週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は38.83人と前週（18.12人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.92人と前週（9.76人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.84人と前週（3.08人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

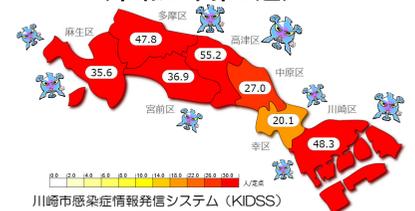


インフルエンザの流行発生警報が再び発令されました！

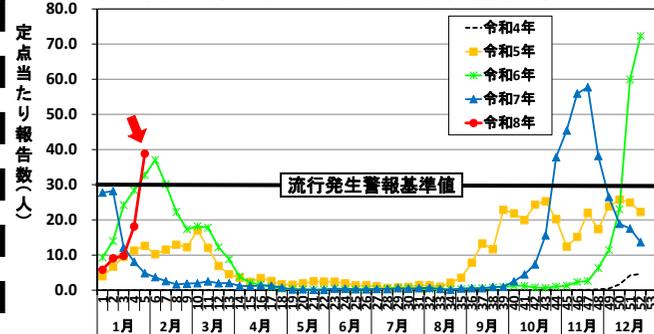
川崎市では、令和7年10月からA型インフルエンザの報告数が急増し、11月上旬に流行発生警報が発令されましたが、11月下旬以降は報告数が減少していました。しかし、令和8年1月下旬からはB型インフルエンザの報告数が増加し始め、第5週（1月26日～2月1日）に定点当たり報告数が38.83人となったため、再び流行発生警報が発令されました。区別では、高津区が定点当たり55.22人と最も多くなっています。

また、1月下旬からは小学校や中学校等の学級閉鎖の報告数も急増しています。引き続き咳エチケットやマスクの着用、手指衛生等の予防対策を徹底しましょう。

川崎市におけるインフルエンザ分布マップ (令和8年第5週)



川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)



川崎市における学級閉鎖実施状況 (令和8年第1週～第6週)

